

「提案の種」について

本日作成した全ての物語を持ち帰っていただきます

物語 (A-1)

それは上品な町なかでの出来事
ある日の夕方
私はレトロ調の洋服屋さんへ小道を歩いていた
町全体の空気気が
きのいの風に吹かれている
美術館のある通りを抜けると
立ち寄りやすい小さな店がある
その店はあきらかに古らぬ店氣に満ち
外観を見ているだけでも不思議とわくわくしてくる
私はそのまま入った。そして
みかんのかおりのする子供と会った
私はその香りに懐かしさを感じた。
「久しぶりだなあ。」
そういえば私も昔、みかんの皮を剥き過ぎて手が黄色くなり、
お父さんに「お前みかんの香りがするぞ」とよく褒められたものだ。
「そうだ。田舎に帰ろう。
私はおもろに車に乗り、田舎の町並みには行かないであろう車の中で
田舎へと緩く擦かしい小道を急いだ。
私の手の跡を残せる? そこには
古と変わらない公園、森、地図田舎がいた。
その中にお父さんもいた。変わらない笑顔で私に手を振ってくれている。
「お父さん!」「おーい! みかんがあるぞ!」

提案の欄

作成した物語から
「提案の種」を探し出して下さい。

提案の種を取り出す(本学学生の場合)

それは上品な町なかでの出来事

ある日の夕方

私はレトロ調の外灯が並ぶ小道を歩いていた

町全体の雰囲気が

きれいな風につつまれている

美術館のある通りを抜けると

立ち寄りやすい小さな店がある

その店は小さいながらも活気に満ち

外観を見ているだけでも不思議とわくわくしてくる

私はその店に入った、そして

みかんのかおりのする子供と出会った

私はその香りに懐かしさを感じた。

「久しぶりだなあ。」

そういうば私も昔、みかんの皮を剥き過ぎて手が黄色くなり、

お父さんに「お前みかんの香りがするぞ」とよく褒められたものだ。

「…そうだ。田舎に帰ろう」

私はおもむろに車に乗り、田舎の町並みには合わないであろう車の中で

田舎へと続く懐かしい小道を急いだ。

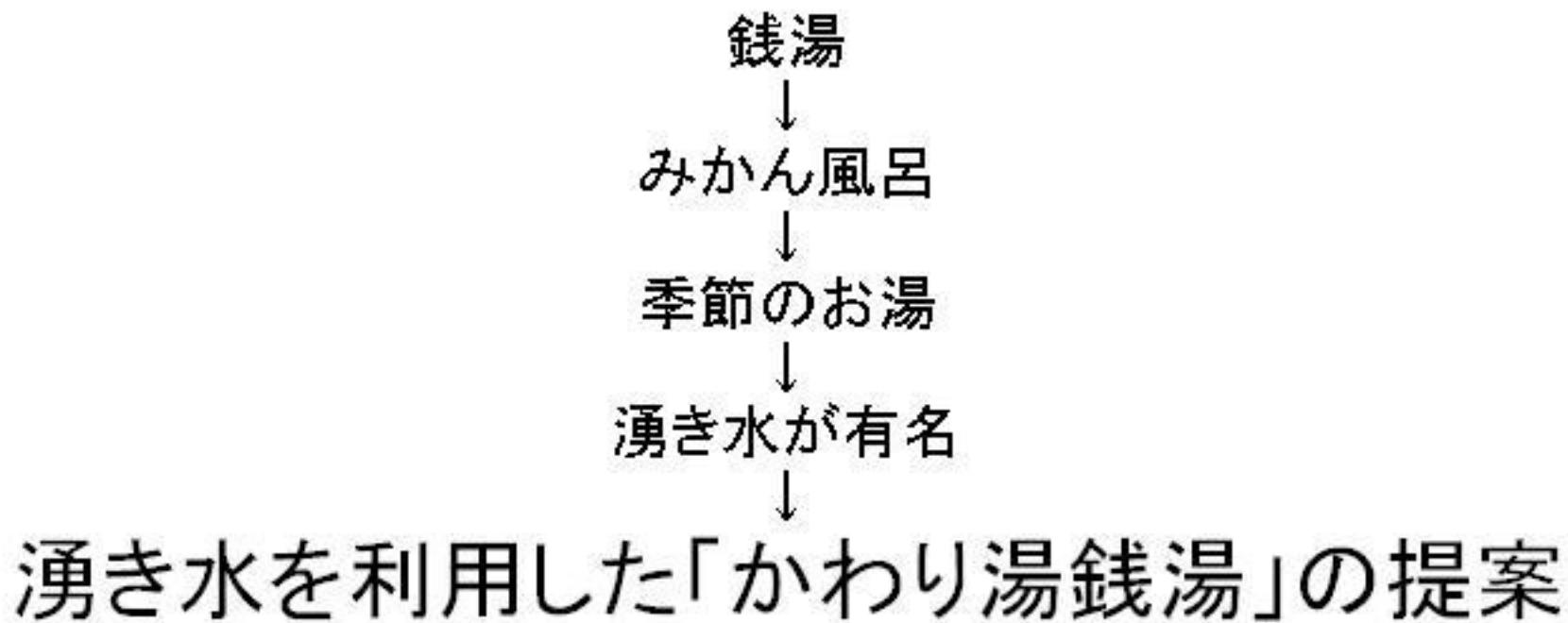
松の木の林をぬけすると、そこには

昔と変わらない公園、銭湯、地域住民がいた。

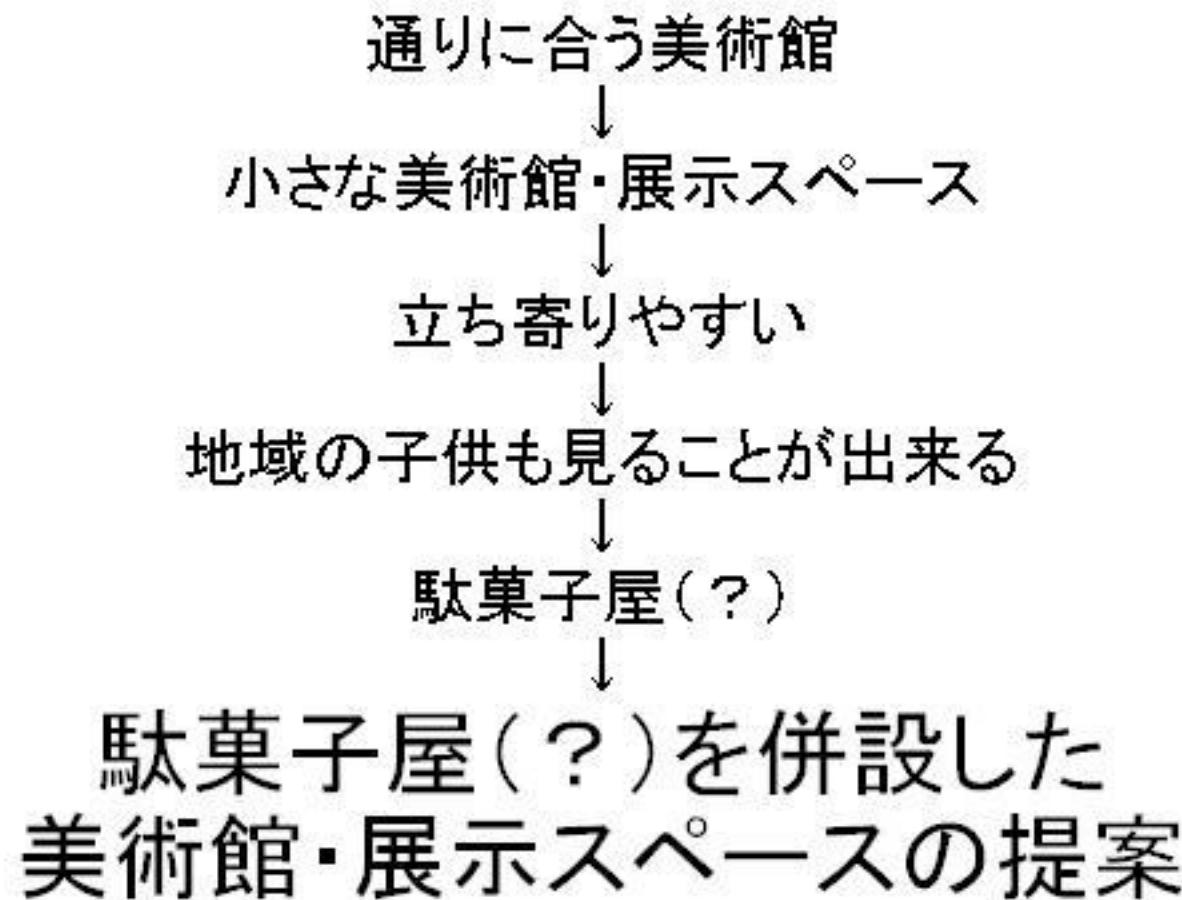
その中にお父さんがいた。変わらない笑顔で私に手を振ってくれている。

「お父さん!」「おーい、みかんがあるぞ」

提案の種(本学学生の場合)



提案の種(本学学生の場合)



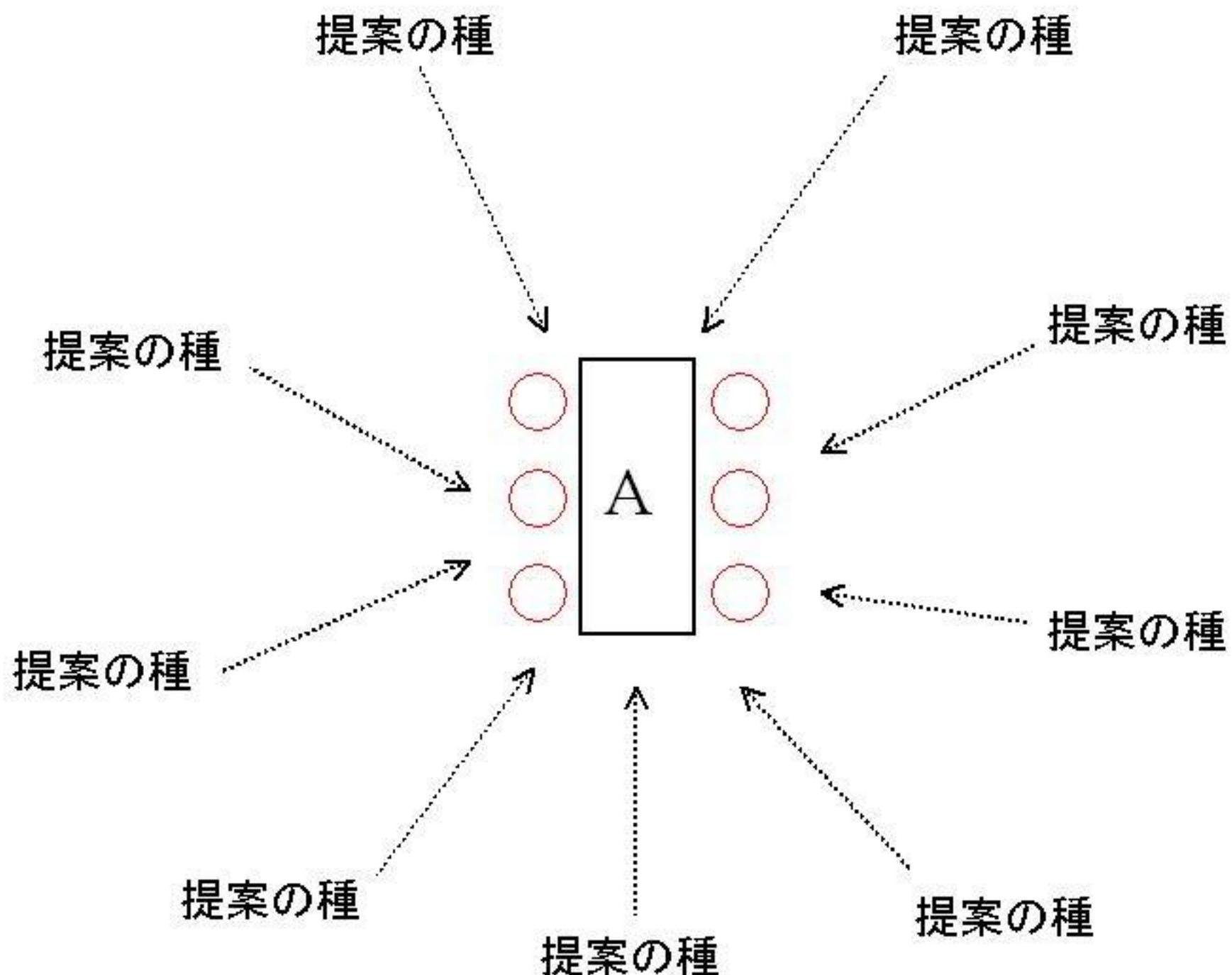
書き方の例(配布資料参考)

提案の種	班-物語
<p>物　　話</p> <p>それは上品な町なかでの出来事 ある日の夕方 私はレトロ調の街灯が使った道を歩いていた 町全体の雰囲気が きれいな風につつまれている <u>美術館のある通りを抜けると</u> 立ち寄りやすい小さな店がある その店は小さいながらも活気に溌々 外観を見ているだけでも不思議とわくわくしてくる 私はその店に入った、そして みかんのかおりのする子供と出会った 私はその香りに懐かしさを感じた 「久しぶりだなぁ。」 そういうえば私も昔、みかんの皮を剥き過ぎて手が黄色くなり、 お父さんに「お前みかんの香りがするぞ」とよく褒められたものだ。 「…そうだ。田舎に帰ろう」 私はおもむろに車に乗り、田舎の町並みには合わないであろう車の中で 田舎へと続く懐かしい小道を走った。 松の木の林をぬけると、そこには 昔と変わらない公園、<u>隣居、地域住民</u>がいた。 その中にお父さんがいた。変わらない笑顔で私に手を振ってくれている。 「お父さん！」「おーい、みかんがあるぞ」 おしまい</p>	<p>通りは暗いので必要ですね。 電球色の暖かい光だと感じが良いですね。</p> <p>学生さんの作品を見る そんな美術館もいいですね。</p> <p>新宿には小道が多いので 何か利用できたらいいのに。</p> <p>昔、黒八の近くに温泉がありました。懐かしいです。</p>
<p>提 案</p> <p>通りのお店や、空きスペースを利用した美術館はどうでしょう? 夜はそのショーケースの光が街灯がわりになるとか?</p>	<p>■提出期限 11月24日(金) 17時まで</p> <p>■提出場所 西郷公民館受付</p>

各自で作成いただき、
11月24日（金）17:00までに
西部公民館受付に提出してください。

その後の作業イメージ
ワークショップ3について

ワークショップ³も
本日のグループで作業を行います。

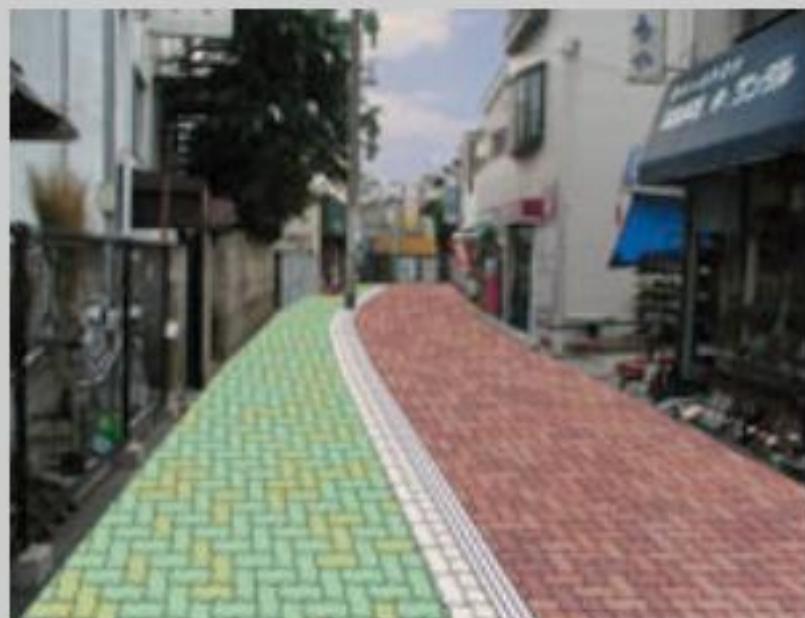


ワークショップ3

12月4日 18:30~20:00 於:秋田市西部公民館



通りの模景 1/100(イメージ)



挿絵(イメージ)

※情景をデザインする—2

- ・「提案の種」を提案にまとめる
- ・グループごとに提案を発表
- ・挿絵の作成箇所の特定
- ・模景作成エリアの決定
- ・懇親会(?)

「提案の種」を
11月24日(金)
17:00までに
西部公民館受付に提出
してください。

提案の種

物語	班一物語 コメント
<p>それは上品な町なかでの出来事。 ある日の夕方 私はレトロ調の外灯が並ぶ小道を歩いていた 町全体の雰囲気が きれいな風につつまれている <u>美術館</u>のある通りを抜けると 立ち寄りやすい小さな店がある その店は小さながらも活気に溌ち 外観を見ているだけでも不思議とわくわくしてくる 私はその店に入った。そして みかんのかおりのする子供と出会った 私はその香りに懐かしさを感じた 「久しぶりだなぁ。」 そういうえば私も昔、みかんの皮を剥き過ぎて手が黄色くなり、 お父さんに「お前みかんの香りがするぞ」とよく褒められたものだ。 「そうだ。田舎に帰ろう」 私はおもむろに車に乗り、田舎の町並みには合わないであろう車の中で 田舎へと続く懐かしい<u>小道</u>を走った 松の木の林をぬけると、そこには 昔と変わらない公園、<u>我出</u>、地域住民がいた。 その中にお父さんがいた。変わらない美貌で私に手を振ってくれている。 「お父さん？」「おーい、みかんがあるぞ」 おしゃい</p>	<p>通りは暗いので必要ですね。 電球色の暖かい光だと感じが良いですね。</p> <p>学生さんの作品を飾る そんな美術館もいいですね。</p> <p>新屋には小道が多いので 何か利用できたらいいのに。</p> <p>昔、黒八の近くに経済がありました。懐かしいです。</p>

提案

通りのお店や、空きスペースを利用した美術館はどうでしょう?
夜はそのショーケースの光が街灯がわりになるとか?

■提出期限
11月24日(金) 17時まで
■提出場所
西部公民館受付

以上

情景デザインゲームの実施例

札幌駅 JR Tower Artwork competition 2等
「手こたつ」

物語

寒い冬
駅のコンコースの
紅く色付く暖房器具に
あつまる人々。

母親は、
手をかざし、
てのひらにぬくもりをたたえ、
その両手で、
子どもの頬をあたためる。

北国の思い出は
寒さと暖かさで
ひとつの風景として記憶される。

寒い土地だからこそ
あたたかい場所にあつまる
北国の広場。

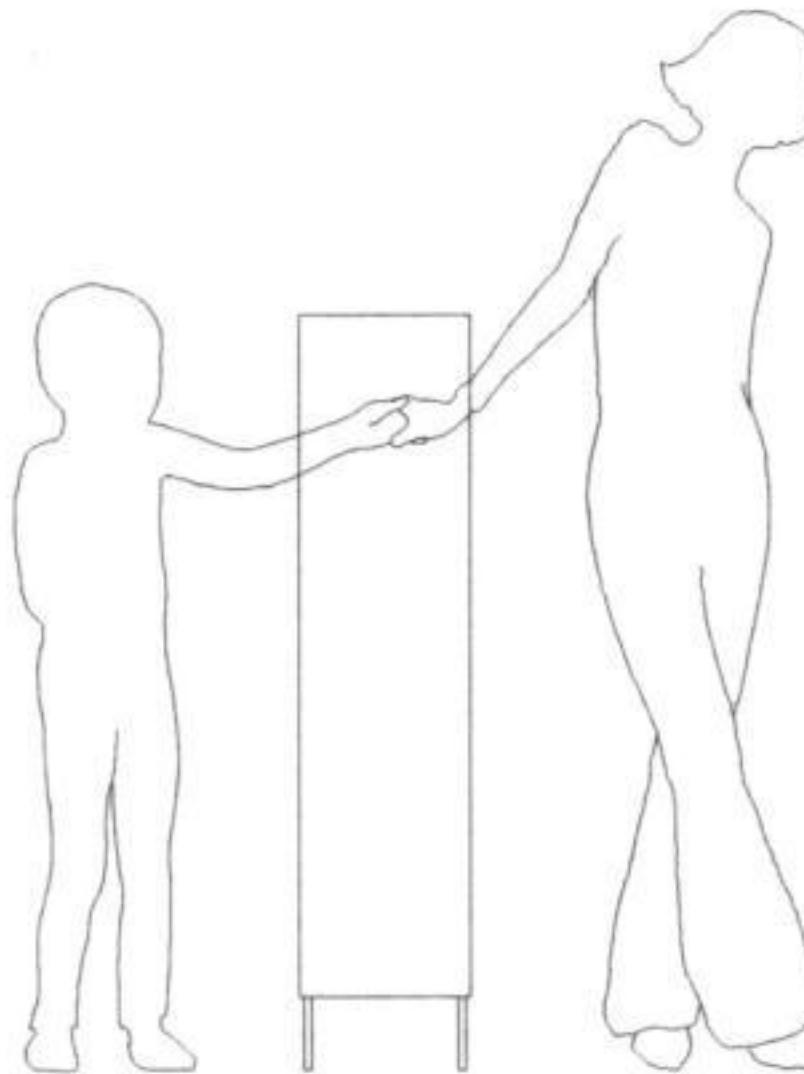
「手こたつ」は
そんな寒い場所の
特別な思いを感じることができる
人々があつまる
ちいさな広場です。

ちいさな、
あたたかな「手こたつ」に
人々はあつまり
おののの、手をあたためます。

でもホントは
人の手のほうが、
あったかくて、
「手こたつ」のなかで
手と手をつなぐと
心もあつたまるなどと

「手こたつ」のなかで
彼女の手をにぎりながら、
北国の駅で気付くのです

情景の想像



詳細の想像

「手こたつ」

寒い冬

朝のコンコースの

紅く色付く極寒器具に

あつまる人々。

霜穂は、

手をかざし、

てのひらにぬくもりをたたえ、

その両手で、

こどもの顔をあたためる、

北風の想い出は

寒さと暖かさで

ひとつの風景として記憶される、

寒い土地だからこそ

あたたかい場所にあつまる

北風の店場。

「手こたつ」は

そんな寒い場所の

特別な想いを感じることができる

人々があつまる

ちいさな店場です。

ちいさな、

あたたかな「手こたつ」に

人々はあつまり

おのれの、手をあたためます、

でもホントは

人の手のほうが、

あったかくて、

「手こたつ」のなかで

手と手をつなぐと

心もあつまるなどと

「手こたつ」のなかで

彼女の手をにぎりながら、

北風の駅で気付くのです



厚み20mmのスポンジを925mmで積層する
極寒器具である。
利害者はスポンジのクリアランスから任意の高さを設置し、「手こたつ」の中に手を入れることができます。
内部には発熱体と絶縁器具が配置されている。
保温スペース（内部中空部）はスポンジが不動的な状態をしており、外部に漏れる光がそのまま表面にともないグラデーションを作り出す。

北風の駅



あつまる人々



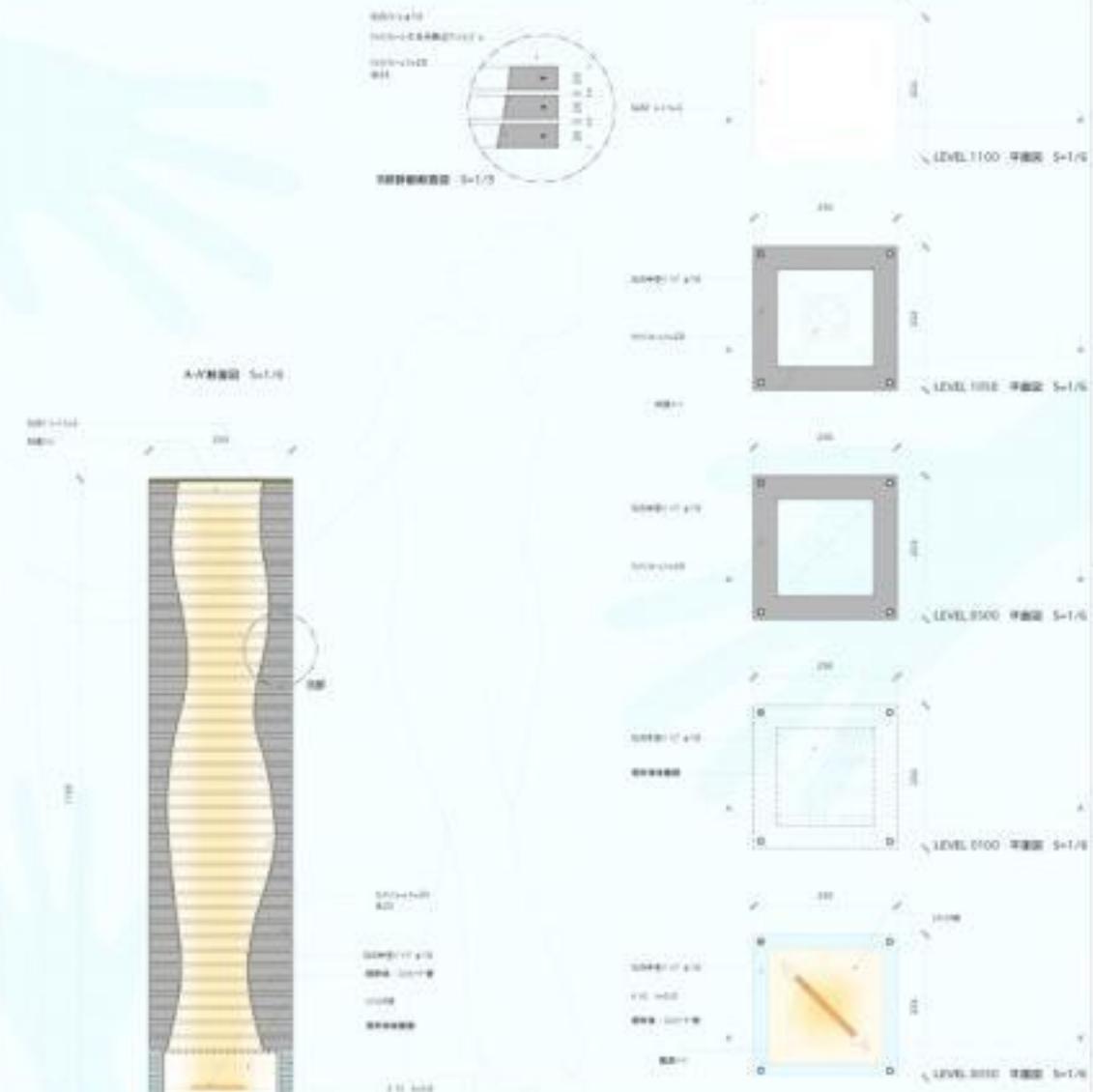
スポンジの隙間から手を取り込む



手をあたためる「手こたつ」



手を手につなげるともつあたたかい



実施





